


提出 順番	No. /	令和 4年 11月 21日 午前・午後 11時 50分受領
----------	----------	----------------------------------

令和4年11月21日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 谷口 和弥 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 選挙公約の達成状況と今後の町政運営について	<p>平成 27. 年 5 月に飯田町長が町長に就任してから、早いもので 7 年 7 か月が過ぎようとしている。飯田町長の任期と前町長・前々町長の在任期間を合わせるとちょうど 40 年間、幕別町役場職員出身の町長に町政のかじ取りを託してきたこととなる。</p> <p>平成 31 年 4 月の町長選挙において飯田町長は「子どもたちの未来のためにみんなで創る 新時代幕別」をメインスローガンに掲げて、自らの「政治姿勢」や「町政推進の基本スタンス」を示すとともに、「活気に満ちた産業のまちづくり」、「安心・安全なまちづくり」、「暮らしを支えるまちづくり」、「元気な教育・文化・スポーツのまちづくり」といった 4 つの大きな柱とした公約を立て 2 回目の当選を果たされた。</p> <p>町長は再選後初の町議会定例会の行政執行方針で、「この美しい自然に恵まれた幕別町を次の世代にしっかりと引き継いでいくためにも、前例にとらわれることなく、柔軟で大胆な発想と挑戦し続ける行動力をもって、直面する難局を乗り越えていかなければならない。これまで以上に町民との対話を大切にし、『住んでみたい、住み続けたい、住んでよかった』と思われるまちづくりに向けて、職員と一丸となって、全力で取り組んでいく」と初心を述べられている。任期は残り 5 か月余りとなった。飯田町長が選挙公約に掲げた政策の達成状況をどのようにとらえているかお伺いする。</p> <p>難局という点では新型コロナウイルス感染症の蔓延といった想像もできなかった事象があり、令和 2 年 2 月には北</p>

<p>2 今後の「幕別町史」の編さん・発行について</p>	<p>海道独自の「緊急事態宣言」が出され、その後も国による「緊急事態宣言」や「まんえん防止等重点措置」が繰り返えされるなど、国や道の動向を伺いながらの難しいかじ取りが今後も続いていくと推察するところである。飯田町長が次期においても引き続き町政を担う意思をお持ちなのか所信をお伺いする。</p> <p>幕別町が約6年半の歳月をかけて編集した「幕別町百年史」が平成8年10月に発行された。「幕別町百年史」の冒頭で故・林照男元町長は、「今日の隆盛を築き上げた先人の歩み」に感謝の言葉を述べると同時に、「脈々と引き継がれている財産を後世に伝えることは私たちの責務である」としている。</p> <p>また、「編さんを終えて」の中で町史編さん員の武田衛氏は、「郷土の歴史調査は永遠に続く課題であり、(中略)、資料が散逸している現状から早急に考慮しなければならぬことである」と述べている。</p> <p>幕別町の歴史の語り部や資料は月日が経てば経つほど失われていく。本年は猿別市街に幕別外六か村戸長役場が設置されてから125年、昨年は町制施行から75年、「幕別町百年史」発行から四半世紀という区切りを過ぎた。</p> <p>ついては今後の「幕別町史」の編さん・発行についてどのように考えているかお伺いする。</p>
-------------------------------	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。